

平成 30 年度 第 1 回学校評議員会

- 1 日 時 平成 30 年 6 月 25 日 (月) 15 : 40 ~ 16 : 40
- 2 場 所 本校第一会議室
- 3 出席者 学校評議員 3 名 (2 名欠席)
校長、副校長、事務長、総務主任、教務主任、生徒指導主事、
進路指導主事、機械科主任、電気電子科主任、建築設備科主任 計 13 名

4 次 第

(1) 開会のことば (副校長)

(2) 校長あいさつ (校長)

本日の第 1 回学校評議員会では、学校経営計画についてのご提言を頂き、今年度の学校運営に反映させていきたいと思う。忌憚のない意見をお聞かせいただきたい。

(3) 報告

ア 教育目標と学校経営計画について (校長)

学校経営計画及び学校要覧に基づき説明。

イ 学校状況の説明について (各分掌主任、各学科主任)

学校概要資料により説明。

【B 学校評議員】

4 月から現在まで、生徒数の動向はあるか。

【校長】

進路変更のため、1 名減となっている。

【A 学校評議員】

学校経営計画の「基本的生活習慣の確立と社会規範の醸成」の説明にもあったが、自己肯定感については全国と比較して、岩手県、さらには宮古管内の中学生は低い結果が出ている。一方、「将来、夢を持っているか」については高い値である。夢は持っているが自信がないということだろうか。高校ではどのような傾向にあるのか。

【機械科主任】

高校においても、同じ傾向がある。自分の立ち位置が分からない上、成功体験などの経験値が低いのかかもしれない。

【A 学校評議員】

中学校では自信を持たせるため、その生徒にあった係活動をさせている。高校は、発達段階で高まるものと思っていた。

【校長】

劣等感などに関係があるのではないか。挨拶は良く、欠席率は低い。褒められたことがなく、引きずっているのではないか。生徒主体の場を多く作るようにしている。

【副校長】

3年生の進路選択においても、同じ傾向が見られるか。

【機械科主任】

進路決定について、生徒は自分自身で進めているが、自分に都合の良い偏った方向になる場合がある。情報を提供して選択する力を付けさせるようにしている。

【C学校評議員】

新入社員にねじを締めたことがない者が出ている。理論は分かるが体験が少ない。特にも大学生である。高校生の方が分かっている。基本的なことはしっかり教えてほしい。

(4) 意見交換

【A学校評議員】

今年度は22名の生徒がお世話になっている。クリーン大作戦でもリーダーシップを取っていただいた。同一地区に小中高があることは珍しい。リーダーシップには感謝している。今後も活動を継続してほしい。

【B学校評議員】

今年1名採用した。現在試用期間で、7月から正社員となる。進路先について県外が多くなっているが、何か理由があるのか。

【進路指導主事】

保護者の考えが影響していると思う。今年の管内希望は、20名程度である。生徒数が少ないので、求人に応えられない現状にある。今までの求人来校数は、県外80件、管内10件である。管内は、会社の情報を先輩から聞くことができ、強みとなっている。

【B学校評議員】

一度外で経験してからというが、戻ってきても就ける仕事はあるのだろうか。掃除の仕方や整理整頓の仕方など、基本的なことを教えてほしい。

【C学校評議員】

海外と戦っている。是非、基本の強化をお願いしたい。

【B学校評議員】

職場見学を受け入れているので、声を掛けてほしい。職員も可能である。

(5) 閉会のことば (副校長)